

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第60期第1四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社自重堂
【英訳名】	JICHODO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 出原 正信
【本店の所在の場所】	広島県福山市新市町大字戸手16番地の2
【電話番号】	0847(51)8111(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役業務本部本部長 富山 英朗
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市新市町大字戸手16番地の2
【電話番号】	0847(51)8111(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役業務本部本部長 富山 英朗
【縦覧に供する場所】	株式会社自重堂 東京支店 (東京都港区海岸三丁目3番15号) 株式会社自重堂 大阪支店 (大阪府中央区南船場二丁目5番23号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第1四半期連結 累計期間	第60期 第1四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2018年7月1日 至2019年6月30日
売上高 (千円)	4,346,672	4,628,444	19,359,599
経常利益 (千円)	625,812	672,365	2,744,398
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	439,414	458,671	1,571,682
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	418,447	399,814	1,107,213
純資産額 (千円)	30,799,883	31,022,700	31,488,082
総資産額 (千円)	35,763,712	38,609,284	38,881,078
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	152.41	159.09	545.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	86.1	80.4	81.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税及び地方消費税は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する米中貿易摩擦、中東や朝鮮半島情勢の緊迫化、日韓の政治的混迷の影響もあり、国内景気は徐々に陰りが見え始めております。また、消費税増税後の景気減速懸念など、先行きについても依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ワーキング事業においては、積み増した豊富な在庫を武器に、「揃う自重堂」として積極的な営業活動を展開するとともに、広告宣伝による販売促進を強化し、売上・利益の拡大を図ってまいりました。また、猛暑対策・熱中症対策商品の電動ファン付ウェア「空調服」を、ユーザーの皆様から高い評価を頂いている「Jawin（ジャウイン）」ブランド、「Z-DRAGON（ジードラゴン）」ブランドでも展開し、「涼しく」更に「かっこいい」作業服の販売により、お客様の多様なニーズに対応するよう努めてまいりました。フットウェア分野においては、デザイン性・機能性と価格訴求力を兼ね備えた商品開発を強化するとともに、市原隼人氏をイメージキャラクターに起用した「Z-DRAGON（ジードラゴン）」ブランドのセーフティシューズによる販促活動を強化し、売上拡大に努めてまいりました。医療用白衣・介護ウェアの分野においては、医療・福祉関連の展示会に積極的に出展し、医療用白衣・介護ウェアブランドである「WHISeL（ホワイセル）」の知名度向上に努め、主力商品である24色展開のスクラブを中心に売り込み強化を図ってまいりました。メンズカジュアル事業においては、事業構造の転換による流通ルートの多元化を更に推し進め、大手販売先との取組みを強化してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、「Jawin（ジャウイン）」ブランド、「Z-DRAGON（ジードラゴン）」ブランドを中心に、電動ファン付ウェア「空調服」が大きく売上を伸ばしたことや、豊富な在庫により消費税増税前の駆け込み需要に対応できたことなどにより、売上高は4,628百万円（前年同四半期比6.5%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。営業利益については、原材料費などの売上原価の上昇、並びに在庫増に伴う物流費の増加や、将来を見据えた積極的な販売促進による広告宣伝費の増加などによる販売費及び一般管理費の上昇により、473百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。経常利益は、有価証券売却益137百万円を計上したことなどにより、672百万円（前年同四半期比7.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は458百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

財政状態に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ271百万円減少し、38,609百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、28,715百万円となりました。これは主に、現金及び預金が297百万円、商品及び製品が1,002百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が968百万円、流動資産その他が424百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ267百万円減少し、9,893百万円となりました。これは主に、投資有価証券が214百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、6,350百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した1,310百万円増加したことと、支払手形及び買掛金が785百万円、未払法人税等が310百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、1,236百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、31,022百万円となりました。これは主に、利益剰余金が406百万円減少したことなどによるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,344,200
計	7,344,200

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,230,701	3,230,701	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	3,230,701	3,230,701	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	3,230,701	-	2,982,499	-	1,827,189

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 347,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,870,300	28,701	-
単元未満株式	普通株式 12,801	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,230,701	-	-
総株主の議決権	-	28,701	-

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の株式数の欄は、全て当社所有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれておりますが、当該株式に係る議決権2個については、議決権の数の欄からは除いております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社自重堂	広島県福山市新市町 大字戸手16-2	347,600	-	347,600	10.76
計	-	347,600	-	347,600	10.76

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,358	2,256,573
受取手形及び売掛金	5,687,979	4,719,668
商品及び製品	16,130,558	17,133,125
仕掛品	4,461	2,509
原材料及び貯蔵品	3,662,094	3,748,919
その他	1,281,647	857,214
貸倒引当金	6,247	2,362
流動資産合計	28,719,853	28,715,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,598,083	1,578,225
土地	4,421,844	4,421,844
その他(純額)	139,374	136,219
有形固定資産合計	6,159,302	6,136,288
無形固定資産	132,183	122,278
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,058	2,203,252
関係会社出資金	130,225	125,942
繰延税金資産	139,286	110,685
その他	1,235,452	1,248,005
貸倒引当金	53,282	52,816
投資その他の資産合計	3,869,739	3,635,069
固定資産合計	10,161,225	9,893,636
資産合計	38,881,078	38,609,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,975,462	4,189,482
未払金	310,347	276,192
未払法人税等	490,993	180,808
返品調整引当金	62,245	48,608
賞与引当金	136,419	78,979
短期借入金	-	1,310,000
その他	176,243	266,256
流動負債合計	6,151,713	6,350,327
固定負債		
退職給付に係る負債	570,308	579,428
その他	670,974	656,827
固定負債合計	1,241,282	1,236,255
負債合計	7,392,996	7,586,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	27,612,023	27,205,792
自己株式	1,716,764	1,717,059
株主資本合計	30,706,288	30,299,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,924	715,506
為替換算調整勘定	19	1,862
退職給付に係る調整累計額	10,889	9,294
その他の包括利益累計額合計	781,794	722,937
純資産合計	31,488,082	31,022,700
負債純資産合計	38,881,078	38,609,284

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,346,672	4,628,444
売上原価	2,960,284	3,235,549
売上総利益	1,386,388	1,392,894
販売費及び一般管理費	842,155	919,752
営業利益	544,233	473,142
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,835	3,690
為替差益	2,458	2,951
デリバティブ評価益	64,599	30,900
有価証券売却益	-	137,043
受取賃貸料	15,864	20,207
その他	5,087	16,390
営業外収益合計	90,844	211,184
営業外費用		
賃貸収入原価	8,923	8,857
持分法による投資損失	-	2,440
その他	341	663
営業外費用合計	9,265	11,961
経常利益	625,812	672,365
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	625,812	672,365
法人税、住民税及び事業税	167,947	160,194
法人税等調整額	18,450	53,500
法人税等合計	186,398	213,694
四半期純利益	439,414	458,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,414	458,671

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	439,414	458,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,371	55,418
為替換算調整勘定	-	1,842
退職給付に係る調整額	1,595	1,595
その他の包括利益合計	20,966	58,857
四半期包括利益	418,447	399,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,447	399,814

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	169,913千円	-千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
減価償却費	32,660千円	32,255千円
のれんの償却額	7,655	7,655

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	864,939	300.00	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月26日 定時株主総会	普通株式	864,917	300.00	2019年6月30日	2019年9月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	152円41銭	159円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	439,414	458,671
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	439,414	458,671
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,883	2,883

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

株式会社自重堂

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 敦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 康治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社自重堂の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社自重堂及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。